

佛敎學セミナー

第 101 号

論 文

- | | | |
|------------------|-----|------|
| 中国における仏伝受容 | 采 署 | 晃… 1 |
| ——漢訳仏伝の変容を通して—— | | |

公開講演

- | | |
|----------------------|------------|
| 『俱舍論註ウパーイカ』の研究 | 本 庄 良 文…18 |
|----------------------|------------|

* * * * *

- | | |
|---------------|----|
| 学 会 彙 報 | 36 |
|---------------|----|

* * * * *

論 文

- | | |
|----------------------------|----------|
| 説一切有部における有漏縁・無漏縁について | 梶 哲 也…46 |
|----------------------------|----------|

初期唯識思想において

- | | |
|-------------------------|----------|
| vastu の概念がもたらした問題 | 岸 上 仁…20 |
|-------------------------|----------|

——説一切有部の議論をふまえて

『菩薩地』『真実義品』を考察する——

- | | |
|------------------------------------|----------|
| Tattvārthā における得・非得の翻訳研究 (1) | 楠 宏 生… 1 |
|------------------------------------|----------|

2015年6月

大 谷 大 學 佛 敎 學 會

佛教学セミナー

第 99 号

論 文

地論学派における南北道分裂の「真相」と「虚像」 …聖凱…1
(村田みお訳)

公開講演

大乗佛教の起源に関する諸問題 佐々木 閑…23

書評・紹介

往還二廻向論の源流を求めて

近年刊行された『『大乗莊嚴經論』 第 XVII 章の

和訳と注解——供養・師事・無量とくに悲無量——』の

紹介のために 小谷 信千代…52

学会彙報 64

論 文

所有をめぐるハリバドラの佛教批判 河崎 豊…48

所知障と五明処

——『中辺分別論』 安慧釈に基いて—— 松下俊英…31

佛教徒にとって satya はいくつあるか

——『釈軌論』と『順正理論』の観点から—— 上野牧生…1

佛教学セミナー

第 100 号

卷頭言

『佛教学セミナー』第一〇〇号を迎えて ロバート F. ローズ…1

論 文

縁起説研究初期が残したもの 宮下晴輝…3

佛教の「スピリチュアル化」について 新田智通…27

——現代世界における佛教の変容

道宣の『四分律行事鈔』撰述とその背景 戸次顕彰…50

——僧祐の著作活動との類似性——

新入会員歓迎講演

この一枚の紙のうえに雲が浮かんでいる ロバート F. ローズ…76

——ティク・ナットハンの佛教思想について

学会彙報 91

論 文

ジャイナ教在家信者の〈布薩〉に対する違反行為 堀田和義…72

正性決定と不退転——初期經典から大乘經典へ—— 松下俊英…50

『瑜伽師地論』「攝事分」における二諦説(上) 上野牧生…27

悪比丘は比丘か 福田琢…1

——説一切有部における波羅夷と律儀——

編集後記

『佛教学セミナー』一〇一号をお届け致します。今号には若い研究者の意欲的な研究成果を掲載することができます。執筆者の方々に感謝申し上げます。楠氏の論文は『俱舍論実義疏』の解説研究の成果です。心不相応の得の箇所はサンスクリット写本を欠き、チベット文しか現存しません。いつかサンスクリット写本が見いだされることがあるとしてもこのようないくつかの基礎研究は大いに役立つでしょう。また、岸上氏の論考は、『瑜伽論』の vastu に注目するものです。vastu に注目する研究がこれまでなかつたわけではありません。しかしながら、極めて重要な指摘が目を引きます。無自性空の提示によつて「何もなくなること」がただただ主張されたのではなく、「価値あることとして何が残るのか」という問い合わせ的重要性に注意を促します。

勝義や世俗の問題は、このような観点で「存在」について論じられている、と言います。梶氏の論考は、近年本格的研究がなされていない説一切有部の煩惱論に関するものです。後期有部の煩惱論の体系がどのような観点で整理されているのかを見極めるのは極めて難しい。仏教の課題をはすさず、有部の膨大な体系を読み解くアイデアが必要です。梶氏は有漏縁・無漏縁の議論に焦点をあてて、隨眠が随増することがいかに捉えられてきたかたくみに解きほぐそうとします。采翠氏の論考は、仏伝を扱うものです。中国においていかに仏陀が受けとめられてきたのか。これは何度も問わなければならない古くて新しい問題です。課題の大きさを再認識させられます。本庄氏の公開講演に基づく原稿を掲載することができましたことも嬉しいかぎりです。長年取り組んでこられた『ウパーイカー』研究が完成し、刊行されたことはきわめて喜ばしいことあります。大部の研究書はわれわれを圧倒します。日本におけるアビダルマ研究史に残る大きな仕事と言つてよいかもしれません。先生にはあらためて御礼申し上げます。
(A.M.)

議論に焦点をあてて、隨眠が随増することがいかに捉えられてきたかたくみに解きほぐそうとします。采翠氏の論考は、仏伝を扱うものです。中国においていかに仏陀が受けとめられてきたのか。これは何度も問わなければならない古くて新しい問題

楠 岸 本 采
上 庄 翳 執
宏 良 文 筆
生 仁 哲 晃
者

大谷大学准教授
佛教大学教授
博士（文学）
大谷大学准教授
佛教大学教授
博士（文学）
大谷大学大学院 博士（医学）
大谷大学大学院 博士（医学）
札幌大谷大学非常勤講師
博士（文学）

佛教学セミナー 第 101 号

2015 年 6 月 20 日 印刷 定価：本体 1,000 円（税別）

2015 年 6 月 30 日 発行

編集
発行

大谷大学佛教学会

発行者 織田顯祐

603-8143 京都市北区小山上総町 22

振替 01040-3-25303

印刷

中村印刷株式会社

発売所

文栄堂書店

604-8091 京都市中京区寺町通三条上ル

振替 01080-4-2948 番

電話 075(231)4712 番

BUDDHIST SEMINAR

CONTENTS

Articles

On the Acceptance of the Buddha's Biographies in China:

- From the Perspective of the Transformation of
Chinese Translations of the Buddha's Biographies WAKEMI Akira 1

Public Lecture

- A Study of the *Abhidharmaśāśvatāpāyikā* HONJŌ Yoshifumi 18

* * * *

- Reports 36

* * * *

Articles

Sāsravālambana and *Anāsravālambana*

- in the Sarvāstivada KAJI Tetsuya 46

The Problem Brought On by the Argument Concerning *Vastu*

in Early Consciousness-Only Thought:

An Investigation into the "Tattvārtha" Chapter

of the *Bodhisattvabhūmi* Taking

into Account Sarvāstivada Treatises

KISHIGAMI Hitoshi 20

Annotated Translation of *Prāpti* and *Aprāpti*

- in the *Tattvārthā* (1) KUSUNOKI Kōshō 1

PUBLISHED BY
 THE SOCIETY OF BUDDHIST STUDIES
 OTANI UNIVERSITY
 KYOTO JAPAN